

富士ステークス

<最終見解>

古くはサンデーサイレンス直仔。
ここ数年はディープ産駒が的中率、回収率ともに
優秀だったように中距離 G1 血統が走りやすいレース。

今の馬場も中距離で末脚を生かすタイプが走りやすい傾向。

本命はソウルラッシュ。

中距離指向のマイラー。
タメるだけタメた脚を最後に爆発させる血統。

母キャットアリは父と母父の組み合わせが
東京マイルを末一手で追い込んできたショウナンマイティと同じ。

ショウナンマイティは安田記念をレコードで勝った
ロードカナロアと同タイムの 2 着に走った馬。

2000m の大阪杯でオルフェーヴルと 0.1 秒差の 2 着。
今の馬場にはショウナンマイティのようなタイプがピッタリ。

相手B

10 セリフォス

相手C

14 ダノンスコーピオン

2 タイムトゥヘヴン

1 エアロノア